

FY2025 地域交通DX推進プロジェクトCOMmmONS

乗降実績データ標準仕様書 (配車アプリ) (案)

国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課
v1.0 2026.3

項目	内容
文書名称	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）
文書ID	commmons_doc_006
発行元	国土交通省 総合政策局 公共交通政策部門 モビリティサービス推進課
最新版数	v1.0
制定日	2026年3月
適用範囲	地域交通（公共ライドシェア配車アプリ）における乗降実績データの作成・交換
備考	本仕様書（案）は2025年度の地域交通DX推進プロジェクト「COMmmONS」における「配車アプリ乗降実績データ標準化プロジェクト」により作成されました。

版数	年月日	改訂内容
v1.0	2026/03/23	初版制定

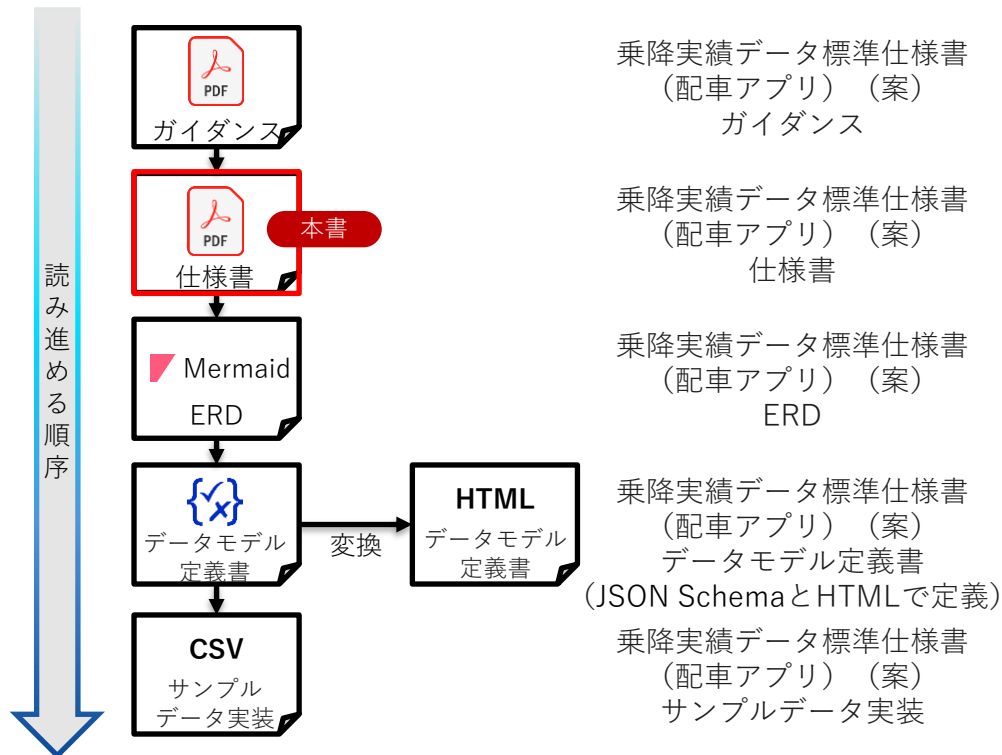
章番号	タイトル	概要
1	本仕様書（案）の位置付け	本仕様書（案）が果たす役割と、関連ドキュメント（ガイダンス等）との関係性を示します。
2	データモデルとスキーマ構造	データが「乗降実績情報」と「ドライバー勤務情報」で構成される論理構造を解説します。
3	ファイルフォーマット仕様	ファイル命名規則、文字コード、CSV分割ルールなどの物理仕様を規定します。
4	データ項目詳細定義	CSVを構成する全フィールドの型、必須属性などの技術詳細を定義します。
5	付録	配車アプリ乗降実績データの具体的なデータ記述例を提示します。

1. 本仕様書（案）の位置付け

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）の全体像と本仕様書（案）の位置付け

本仕様書（案）は、有識者へのヒアリング等を基に、国土交通省が地域交通DX推進プロジェクトCOMmmONS（コモンズ）として策定したものです。本仕様書（案）では、公共ライドシェア等の配車アプリから取得される乗降実績等のデータを地方公共団体に提供する際に準拠すべき技術仕様（物理名、型、制約等を定義しています）。

なお、本仕様書（案）は、大分県別府市をフィールドとした2025年度の調査に基づく限定的な仕様となっており、全国的な標準仕様としての可用性を高めていくため、2026年度以降も標準化に向けた調査を継続する予定です（このため、仕様書には「（案）」と記しています）。仕様の背景や策定プロセスについては、「乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）ガイダンス」を参照してください。



分類	名称	ファイル形式	想定読者	内容
ガイダンス	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）ガイダンス	pdf	地方公共団体担当者 運行事業者 配車アプリ事業者 開発担当者	現状の課題や標準化の意義、仕様策定プロセスなど、標準仕様（案）の背景や文脈（コンテキスト）の解説をする。 「標準ドキュメント」を読むための前提知識を提供する。
	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）本書	pdf	地方公共団体担当者 運行事業者 配車アプリ事業者 開発担当者	データの物理名、型、桁数、必須条件などの技術的詳細を網羅的に定義する。 開発時の「辞書」として機能する。
標準ドキュメント	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）ERD	mmd svg	開発担当者	標準仕様（案）で定めるデータ構造の関係性を定義する。
	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）データモデル定義書	json html	開発担当者	開発者がデータのバリデーション（検証）実装等にするJson形式の技術定義（JSON Schema準拠）と json-schema-for-humansを利用し JSON Schemaを人が読み易いHTMLに変換したものの2点。
	乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）サンプルデータ実装	csv	開発担当者	具体的な実装イメージを持つためのCSVファイル群。

2. データモデルとスキーマ構造

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）に含まれるデータ項目

本仕様（案）では、配車アプリ等から取得される「乗降実績データ」（ユーザーの配車リクエストから降車、または配車/乗車のキャンセルまで）と「ドライバー勤務データ」（稼働開始から終了まで）の2データを対象として扱います。

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）として扱う情報の範囲

①乗降実績データ

1 トリップに関する情報		供給サイドに関する情報		付加情報	
乗降実績情報	決済情報	営業所情報	自動車情報	ドライバー情報	ユーザー情報
乗車日時、 場所など	乗車料金な ど	営業所名な ど	自動車番号 など	ID情報など	居住国など

②ドライバー勤務データ

ドライバー勤務に関する情報

ドライバー勤務情報

ID情報、稼働開始時刻など

乗降実績データ			
string	trip_id	PK	乗車ID
string	user_phone_name		ユーザー登録電話番号
string	user_gender		ユーザー性別
integer	user_age		ユーザー年齢
date-time	dispatch_request_at		配車リクエスト日時
date-time	dispatch_arrangement_at		配車確定日時
date-time	cancellation_at		キャンセル日時
enum	trip_status_type		乗車ステータス区分
enum	operation_mode_type		運行形態区分
date-time	boarding_at		乗車日時
date-time	alighting_at		降車日時
string	boarding_address		乗車場所
string	alighting_address		降車場所
string	vehicle_public_registration_name		届出自動車登録番号
string	serviced_office_name		営業所名
string	driver_id	FK	ドライバーID
integer	trip_total_fare		乗車料金総額
integer	time_distance_combined_fare		時間距離併用制料金
integer	pickup_fare		迎車料金

ドライバー勤務データ			
string	driver_id	PK	ドライバーID
date	driver_work_date	PK	ドライバー勤務日
time	driver_operation_start_at	PK	ドライバー稼働開始時刻
time	driver_operation_end_at		ドライバー稼働終了時刻

||—|<

本仕様（案）に含まれる、「乗降実績データ」と「ドライバー勤務データ」の2データの関係性（リレーション）を示したER図

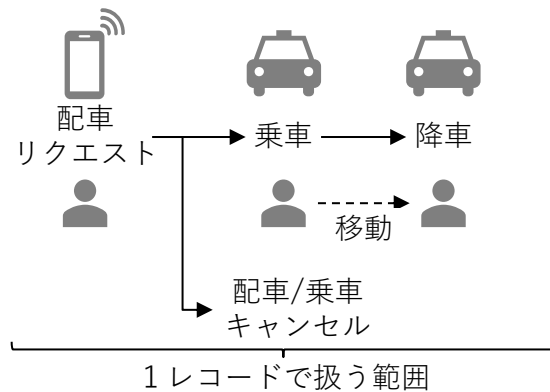
2. データモデルとスキーマ構造

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）に含まれるデータ項目

本標準仕様（案）における「乗降実績データ」では、配車アプリ事業者が現状出力しているデータの構造や地方公共団体における分析時の取り回しの良さを踏まえ、乗降実績や決済情報等の動的なトランザクションデータと自動車・ドライバー情報等の静的なマスターデータを1レコードとして扱います。

①「乗降実績データ」として扱う1レコードの範囲

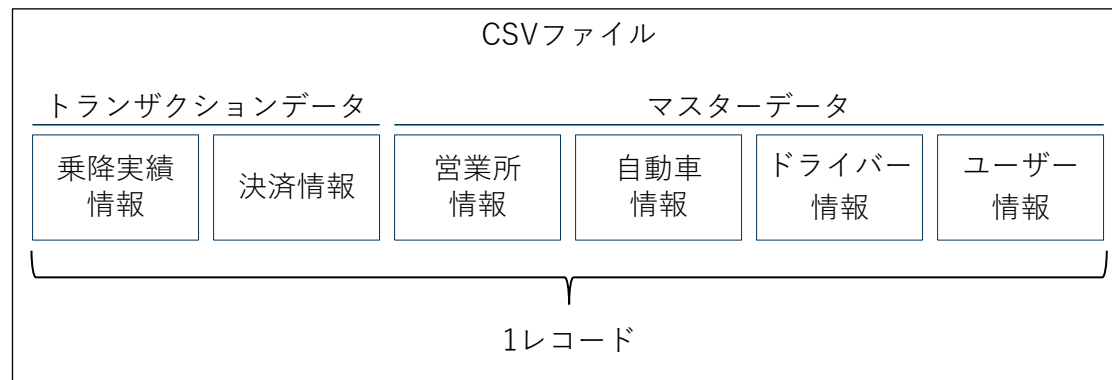
乗降実績（乗車またはキャンセル）データ



現行システムでは、乗降実績を配車リクエストから降車またはキャンセルまでを1レコードとして扱うケースが一般的といえます。

このため、乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）における「乗降実績データ」では、配車リクエストから降車まで、またはキャンセルまでの一連の流れを1レコードとして扱います。

①「乗降実績データ」のデータ構造とファイル形式



通常、「乗降実績情報」は決済を伴わないキャンセルされたリクエスト処理を含むため、「決済情報」とは粒度が異なる情報です。

また、「乗降実績情報」や「決済情報」などの乗降に応じた動的なデータ（トランザクションデータ）と「自動車情報」や「ドライバー情報」等の静的なデータ（マスターデータ）は性質が異なる情報です。

しかし、配車アプリ事業者が扱う乗降実績情報はこれらの粒度や性質の異なるデータ間で紐づけ（リレーション）がされていることが一般的であるため、地方公共団体におけるデータ利用シーンにおける取り回しの良さを重視する観点から、本標準仕様（案）における「乗降実績データ」ではこれら複数の情報を1つのレコードとして扱います。

また、ファイル形式は広く普及しているCSVを採用します。

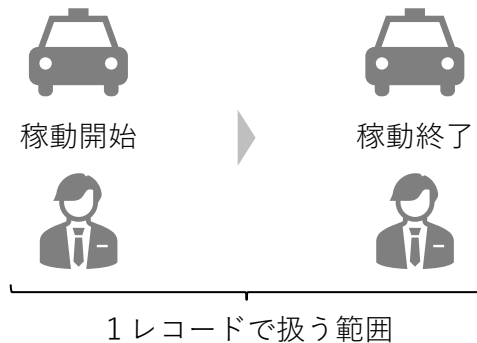
2. データモデルとスキーマ構造

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）に含まれるデータ項目

本仕様（案）における「ドライバー勤務情報」では、1日の稼働が複数回となることを踏まえドライバーの稼働開始（配車受付を開始したタイミング）から稼働終了（配車受付を終了したタイミング）のデータを1レコードとして扱います。

②「ドライバー勤務データ」として扱う1レコードの範囲

ドライバー勤務データ



公共ライドシェア等の勤務形態では、日勤/夜勤など1日の稼働時間が複数に分割されることが一般的なため、システムにおいてもドライバー勤務を勤務日、稼働開始時間、稼働終了時間を一つの勤務データの単位として扱うケースが一般的といえます。

このため、乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）の「ドライバー勤務データ」では、ドライバーの稼働開始（配車受付を開始したタイミング）から稼働終了（配車受付を終了したタイミング）のデータを1レコードとして扱います。

②「ドライバー勤務データ」のデータ構造とファイル形式

CSVファイル

トランザクションデータ

ドライバー勤務情報

1レコード

「ドライバー勤務データ」は、ドライバー勤務に関する情報です。

ドライバーを一意に特定するドライバーIDや稼働日、稼働開始/終了時間からなります。

ファイル形式は広く普及しているCSVを採用します。

2. データモデルとスキーマ構造

乗降実績データ標準仕様書（配車アプリ）（案）に含まれるデータ項目

定義するデータ項目は以下の通りです。
「物理名」はCSVファイルのヘッダ行に対応します。

乗降実績データ

No	分類	フィールド名	物理名	ユニークキー	必須(※1)	データ型(※2)
1	乗降実績	乗車ID	trip_id	○	○	string
2	乗降実績	ユーザー登録電話番号	user_phone_name			string
3	乗降実績	ユーザー性別	user_gender			string
4	乗降実績	ユーザー年齢	user_age			integer
5	乗降実績	配車リクエスト日時	dispatch_request_at		○	date-time
6	乗降実績	配車確定日時	dispatch_arrangement_at		○	date-time
7	乗降実績	キャンセル日時	cancellation_at			date-time
8	乗降実績	乗車ステータス区分	trip_status_type		○	enum
9	乗降実績	運行形態区分	operation_mode_type			enum
10	乗降実績	乗車日時	boarding_at			date-time
11	乗降実績	降車日時	alighting_at			date-time
12	乗降実績	乗車場所	boarding_address			string
13	乗降実績	降車場所	alighting_address			string
14	乗降実績	届出自動車登録番号	vehicle_public_registration_name			string
15	乗降実績	営業所名	served_office_name			string
16	乗降実績	ドライバーID	driver_id			string
17	乗降実績	乗車料金総額	trip_total_fare			integer
18	乗降実績	時間距離併用制料金	time_distance_combined_fare			integer
19	乗降実績	迎車料金	pickup_fare			integer

ドライバー勤務データ

No	分類	フィールド名	物理名	ユニークキー	必須(※1)	データ型(※2)
1	ドライバー勤務	ドライバーID	driver_id	○		string
2	ドライバー勤務	ドライバー勤務日	driver_work_date	○		date
3	ドライバー勤務	ドライバー稼働開始時刻	driver_operation_start_at	○		time
4	ドライバー勤務	ドライバー稼働終了時刻	driver_operation_end_at			time

※1:配車アプリ事業者等が出力できない、提出できないデータの出力は不要とする。

※2:区分（enum）のリストは各配車アプリ事業者で定義を作成し共有する想定。

※3:個人情報又は個人関連情報に該当する場合は個人情報保護法等の法令に従った適切な取扱いが必要となる。

3. ファイルフォーマット仕様

ファイルフォーマット仕様

データ連携における相互運用性を担保するため、以下のファイル形式および命名規則を定めます。

ファイル詳細

- ファイル名
「会社名称」_「データ種別」_「日付」.csv
例) ○×配車アプリ株式会社_乗降実績_20251001.csv
- ファイル名の変数

#	変数名	フォーマット	サンプル	詳細
1	会社名称	任意(日本語名)	○×配車アプリ株式会社	会社の正式名称を設定する。
2	データ種別	“乗降実績”, “ドライバー勤務”	乗降実績	標準仕様（案）で定めたデータ種別を設定する。 【データ種別リスト】 乗降実績：乗車場所や決済金額等、配車依頼から降車まで、またはキャンセルまでの一連の流れに紐づくデータフィールドが収載されたテーブル。 ドライバー勤務：ドライバーの稼働開始から稼働終了の一連の流れに紐づくデータフィールドが収載されたテーブル。
3	日付	YYYYMMDD	20251001	配車アプリ事業者が管理するデータ管理日付（データ出力日）を西暦で設定する。

- 文字コード
UTF-8
- ファイル分割ルール
 - ファイルの分割単位
 - データ種別ごとにファイルを分割する
 - 同一データ種別単位で、ファイル名に付与される「日付」単位にファイルを分割する
 - ファイルサイズ
制限なし

3. ファイルフォーマット仕様

ファイルフォーマット仕様

本仕様（案）で利用するデータ型はJson Schema（ <https://json-schema.org/> ）の仕様に準拠します。

すべてのデータ型に対して、NULLは以下のルールで扱います。

- ① 値が存在しない場合は、CSV上では「空（長さ 0 の文字列）」として記述してください。
- ② "null" や "NULL" などの文字列は使用しないでください。
- ③ 数値型（Integer）等の場合も、欠損時は 0 ではなく空欄とすることを基本とします（※ 0 人等の 0 という数字に意味がある場合を除く）。

データ型	説明	フォーマット規定	CSV出力値の例
string(文字列)	一般的なテキストデータ。 文字コードはUTF-8とする。	特になし (ダブルクォート(")で囲むことを推奨)	大分県別府市XXX1丁目1番地1号XXコープ
integer(整数)	0 以上の整数値。	半角数字のみ ※3桁区切りのカンマ(,)は含めない	500
date(日付)	年月日を表す日付データ。	YYYY-MM-DD ※セパレータはハイフン(-)を使用 ※ゼロパディング (0埋め) を行う ※RFC 3339に準拠	2025-12-31 2026-01-05
date-time(日時)	年月日と時刻（時分秒）を表すデータ。 日本標準時（JST）とする。	YYYY-MM-DDThh:mm:ss ※日付と時刻の間はTを入れる ※セパレータはハイフン(-)とコロン(:) ※RFC 3339に準拠	2025-10-10T10:00:00 2025-10-10T09:05:00
time(時刻)	時刻（時分秒）を表すデータ。 日本標準時（JST）とする。	hh:mm:ss ※セパレータはコロン(:) ※RFC 3339に準拠	10:00:00 09:05
enum(区分値)	あらかじめ定義されたコード値（文字列）から選択して 設定する項目。	定義済みのコード値 ※コードリストはP13以降記載の各データフィールドの項を参照	降車完了,キャンセル（ユーザー）

4. データ項目詳細定義

定義項目の読み方

① No	② フィールド名	③ 物理名	④ ユニーク キー	⑤ 必須 (※1)	⑥ データ型 (※2)	⑦ サンプルデータ	⑧ 入力規則
1	乗車ID	trip_id	○	○	string	999a999z	<ul style="list-style-type: none"> ・当該乗車を一意に識別するための識別ID ・1事業者の中で重複なく配賦

No	名称	内容
①	フィールド名	データ項目を人が理解するため論理名。
②	物理名	コンピュータシステムがデータを識別するために用いる英数字の名称。 CSVファイルのヘッダ行に使用される。 日付は_date、タイムスタンプは_at、IDは_id、区分は_type、名称は_name、性別は_gender、年は_age、アドレスは_address、 料金は_fareを末尾に付与。
③	ユニークキー	CSVファイル全体でユニーク（一意）となるデータ。
④	必須	以下の二つの条件の両方に当てはまるフィールドは必須フィールドとして定義。 <ul style="list-style-type: none"> - 現行システムからそのまま出力できるデータ - ユースケースを踏まえた分析メニューに必要なデータ
⑤	データ型	区分（enum）のリストは配車アプリ事業者の定義を利用する。 データ型はJson Schemaの型を採用し、以下のルールで設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日付をdate ・タイムスタンプをdate-time ・時刻をtime ・区分値をenum ・数値をinteger ・上記以外をstring
⑥	サンプルデータ	仕様（案）に沿ったサンプルデータ。
⑦	入力規則	値の入力ルールを記載。

※1:配車アプリ事業者等が出力できない、提出できないデータの出力は不要とする。

※2:区分（enum）のリストは各配車アプリ事業者で定義を作成し共有する想定。

※3:個人情報又は個人関連情報に該当する場合は個人情報保護法等の法令に従った適切な取扱いが必要となる。

4. データ項目詳細定義

フィールド定義 乗降実績データ (1/2)

No	フィールド名	物理名	ユニークキー	必須 (※1)	データ型 (※2)	サンプルデータ	入力規則
1	乗車ID	trip_id	○	○	string	999a999z	<ul style="list-style-type: none"> 当該乗車を一意に識別するための識別ID 1事業者の中で重複なく配賦
2	ユーザー登録電話番号	user_phone_name			string	+81	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー登録時に取得した情報に基づくユーザーの電話番号 国番号だけに処理を行った上で提供
3	ユーザー性別	user_gender			string	女性	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー登録時に取得した情報に基づくユーザーの性別
4	ユーザー年齢	user_age			integer	26	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー登録時に取得した情報に基づくユーザーの年齢
5	配車リクエスト日時	dispatch_request_at		○	date-time	2025-10-01T12:00:00	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが配車アプリにて配車をリクエストした日時。当該時刻を起点として1回の乗車意思を1リクエストとして扱い、同一ユーザーから10分以内の複数リクエストは1件に集約される 形式はYYYY-MM-DDThh:mm:ss
6	配車確定日時	dispatch_arrangement_at		○	date-time	2025-10-01T12:00:00	<ul style="list-style-type: none"> 配車リクエストに対して、ユーザーとドライバーのマッチングが成立し、配車が確定した時点を示す日時 形式はYYYY-MM-DDThh:mm:ss
7	キャンセル日時	cancellation_at			date-time	2025-10-01T12:00:00	<ul style="list-style-type: none"> 配車が確定したリクエストに対して、ユーザーまたはドライバーによるキャンセルが行われた時点を示す日時 形式はYYYY-MM-DDThh:mm:ss
8	乗車ステータス区分	trip_status_type		○	enum	降車完了 //enumの例 ["降車完了","キャンセル (ユーザー)", "キャンセル (ドライバー)"]	<ul style="list-style-type: none"> 配車リクエストに対する乗車結果を識別するためのステータスを表すコード
9	運行形態区分	operation_mode_type			enum	公共ライドシェア //enumの例 ["公共ライドシェア","タクシー","日本版ライドシェア","乗合タクシー"]	<ul style="list-style-type: none"> 当該トリップが公共ライドシェア事業として提供された運行か、その他の運行か等を識別するための区分を表すコード

※1:配車アプリ事業者等が出力できない、提出できないデータの出力は不要とする。

※2:区分 (enum) のリストは各配車アプリ事業者で定義を作成し共有する想定。

※3:個人情報又は個人関連情報に該当する場合は個人情報保護法等の法令に従った適切な取扱いが必要となる。

4. データ項目詳細定義

フィールド定義 乗降実績データ (2/2)

No	フィールド名	物理名	ユニークキー	必須 (※1)	データ型 (※2)	サンプルデータ	入力規則
10	乗車日時	boarding_at			date-time	2025-10-01T12:00:00	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーの乗車を受けて、ドライバーがステータスを実車に変更した時点を示す日時 形式はYYYY-MM-DDThh:mm:ss
11	降車日時	alighting_at			date-time	2025-10-01T12:00:00	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーの降車を受けて、ドライバーがステータスを降車に変更した時点を示す日時 形式はYYYY-MM-DDThh:mm:ss
12	乗車場所	boarding_address			string	大分県別府市XXX 1 丁目 1 番地 1 号XXコープ	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが乗車した地点の住所を表す住所 出来る限り詳細な住所が望ましい
13	降車場所	alighting_address			string	大分県別府市XXX 1 丁目 1 番地 1 号XXコープ	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが降車した地点の住所を表す住所 出来る限り詳細な住所が望ましい
14	届出自動車登録番号	vehicle_public_registration_name			string	大分999あ9999	<ul style="list-style-type: none"> 車両を一意に識別するための情報 「地域名、分類番号、ひらがな等、一連指定番号（4桁）」で記載
15	営業所名	served_office_name			string	別府市、公共ライドシェア、B-biz LINK、別府駅前営業所	<ul style="list-style-type: none"> 営業所名を一意に識別するための名称
16	ドライバーID	driver_id			string	999a999z	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー登録時に事業者側で付与される識別ID 1事業者の中で重複なく配賦
17	乗車料金総額	trip_total_fare			integer	2500	<ul style="list-style-type: none"> 配車リクエスト時点で事前算出された、ユーザーが支払う総額
18	時間距離併用制料金	time_distance_combined_fare			integer	1500	<ul style="list-style-type: none"> 当該乗車に係る運賃の金額
19	迎車料金	pickup_fare			integer	1000	<ul style="list-style-type: none"> 1トリップにおける迎車料金の金額

※1:配車アプリ事業者等が出力できない、提出できないデータの出力は不要とする。

※2:区分（enum）のリストは各配車アプリ事業者で定義を作成し共有する想定。

※3:個人情報又は個人関連情報に該当する場合は個人情報保護法等の法令に従った適切な取扱いが必要となる。

4. データ項目詳細定義

フィールド定義 ドライバー勤務データ

No	フィールド名	物理名	ユニーク キー	必須 (※1)	データ型 (※2)	サンプルデータ	入力規則
1	ドライバーID	driver_id	○		string	999a999z	<ul style="list-style-type: none">ドライバー登録時に事業者側で付与される識別ID1事業者の中で重複なく配賦
2	ドライバー勤務日	driver_work_date	○		date	2025-10-01	<ul style="list-style-type: none">ドライバーが実際に勤務（稼働）した日形式はYYYY-MM-DD
3	ドライバー稼働開始時刻	driver_operation_start_at	○		time	12:00:00	<ul style="list-style-type: none">当該勤務日において配車受付可能となった時刻形式はhh:mm:ss
4	ドライバー稼働終了時刻	driver_operation_end_at			time	12:00:00	<ul style="list-style-type: none">当該勤務日において配車受付を終了した時刻形式はhh:mm:ss

※1:配車アプリ事業者等が出力できない、提出できないデータの出力は不要とする。

※2:区分（enum）のリストは各配車アプリ事業者で定義を作成し共有する想定。

※3:個人情報又は個人関連情報に該当する場合は個人情報保護法等の法令に従った適切な取扱いが必要となる。

5. 付録

区分（enum）値のリスト例

フィールド定義上の区分値（乗車ステータス区分、運行形態区分）のリストは、配車アプリ事業者にて定義を作成し共有する想定です。
 地方公共団体における分析のユースケース踏まえ、想定のリスト例を記載するものです。
 フォーマットは配車アプリ事業者が最も提出しやすい形式とします。
 以下、CSVとJsonで出力した例となります。

区分（enum）値を設定しているデータフィールドのリスト例（csv）

target_physical_name,name

trip_status_type,降車完了
 trip_status_type,キャンセル（ユーザー）
 trip_status_type,キャンセル（ドライバー）
 operation_mode_type,公共ライドシェア
 operation_mode_type,タクシー
 operation_mode_type,日本版ライドシェア
 operation_mode_type,乗合タクシー

サンプルCSVのヘッダの情報

- target_physical_name = 区分値の対象となる乗降実績のフィールド名
- name = 分析時に利用する日本語名

地方公共団体における分析のユースケース踏まえ、標準仕様（案）で定義したフィールドの区分（enum）値の想定のリスト例（csv）を記載します。

区分（enum）値を設定しているデータフィールドのリスト例（Json）

```
{
  "trip_status_type": [
    {"name": "降車完了"},
    {"name": "キャンセル（ユーザー）"},
    {"name": "キャンセル（ドライバー）"}
  ],
  "operation_mode_type": [
    {"name": "公共ライドシェア"},
    {"name": "タクシー"},
    {"name": "日本版ライドシェア"},
    {"name": "乗合タクシー"}
  ]
}
```

区分値の対象となる乗降実績のフィールド名

name = 分析時に利用する日本語名

地方公共団体における分析のユースケース踏まえ、標準仕様（案）で定義したフィールドの区分（enum）値の想定のリスト例（json）を記載します。

5. 付録

サンプルデータ(1/2)-CSV

データ種別（乗降実績データ、ドライバー勤務データ）ごとに2つのサンプルを用意しました。

- ① 全てのデータが入っているレコード
- ② 必須のみデータが入っているレコード

○×配車アプリ株式会社_公共ライドシェア_乗降実績_20251001.csv

```
trip_id,user_phone_name,user_gender,user_age,dispatch_request_at,dispatch_arrangement_at,cancellation_at,trip_status_type,operation_mode_type,boarding_at,alighting_at,boarding_address,alighting_address,vehicle_public_registration_name,serviced_office_name,driver_id,trip_total_fare,time_distance_combined_fare,pickup_fare
999a999z,+81,女性,26,2025-10-01T12:00:00,2025-10-01T12:00:00,2025-10-01T12:00:00,降車完了,公共ライドシェア,2025-10-01T12:00:00,2025-10-01T12:00:00,大分県別府市XXX1丁目1番地1号XXコープ,大分県別府市XXX1丁目1番地1号XXコープ,大分999あ9999,別府市、公共ライドシェア、B-biz LINK、別府駅前営業所,999a999z,2500,1500,1000
999a999z,,,,,2025-10-01T12:00:00,2025-10-01T12:00:00,,降車完了,,,,,,,,, }
```

①

} ②

○×配車アプリ株式会社_公共ライドシェア_ドライバー勤務_20251001.csv

```
driver_id,driver_work_date,driver_operation_start_at,driver_operation_end_at
999a999z,2025-10-01,12:00:00,12:00:00 }
... }
```

①

} ②

5. 付録

サンプルデータ(2/2)-CSVをテーブル化

前ページのCSV原本を参考としてテーブル化し、視覚的に表現しました。

○×配車アプリ株式会社_公共ライドシェア_乗降実績_20251001.csv

trip_id	user_phone_name	user_gender	user_age	dispatch_request_at	dispatch_arrangement_at	cancellation_at	trip_status_type	operation_mode_type	boarding_at	alighting_at	boarding_address	alighting_address	vehicle_public_registration_name	served_office_name	driver_id	trip_total_fare	time_distance_combined_fare	pickup_fare
999a999z	+81	女性	26	2025-10-01T12:00:00	2025-10-01T12:00:00	2025-10-01T12:00:00	降車完了	公共ライドシェア	2025-10-01T12:00:00	2025-10-01T12:00:00	大分県別府市XXX1丁目1番地1号XXコープ	大分県別府市XXX1丁目1番地1号XXコープ	大分999あ9999	別府市、公共ライドシェア、B-biz LINK、別府駅前営業所	999a999z	2500	1500	1000
999a999z				2025-10-01T12:00:00	2025-10-01T12:00:00		降車完了											

○×配車アプリ株式会社_公共ライドシェア_ドライバー勤務_20251001.csv

driver_id	driver_work_date	driver_operation_start_at	driver_operation_end_at
999a999z	2025-10-01	12:00:00	12:00:00

5. 付録

外部仕様参照先

本仕様（案）における各種参照先を掲示します。

資料・リソース名称	役割・主な内容	参照先・入手方法
JSON Schema Specification	本仕様（案）のバリデーション（必須チェック、型定義）記述言語の公式仕様。データモデル定義書（JSON Schema）の技術的な解釈のために参照します。	https://json-schema.org/
RFC 3339	日付と時刻の表記に関する国際標準規格。 本仕様（案）における「日時型（date-time）」のフォーマット（YYYY-MM-DDThh:mm:ss）、「日型（date）」のフォーマット（YYYY-MM-DD）、「時間型（time）」のフォーマット（hh:mm:ss）定義として準拠します。	https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc3339
文字コード (UTF-8)	世界的な文字エンコーディング標準。本仕様（案）におけるCSVファイルの文字化けを防ぎ、システム間相互運用性を担保するために採用しています。	https://home.unicode.org/



COMmmons